学校番号	320

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・年齢とともに出会うさまざまな健康問題について理解しよう。
・思春期の体の変化や心身の発達にかかわる健康課題について学ぼう。
・健康を支える社会のしくみとその活用方法について知ろう。
・自然環境・食品・労働と健康とのかかわりについて理解しよう。
・自然環境や食品、労働に関する健康課題を学び、その解決方法について考えよう。
・身近な健康問題に興味をもとう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・健康の保持増進に関わる基礎的な知識（生活習慣・安全管理など）を理解し、説明できる。
・個人や社会生活における健康課題を具体的に挙げることができる。
・実習や活動を通して、正しい方法や手順を身につけ、適切に実践できる。
【思考力、判断力、表現力等】
・健康や安全に関する課題を自ら見つけることができる。
・複数の情報を比較・分析し、解決策を考えることができる。
・根拠をもとに自分の考えをまとめ、分かりやすく発表・記述できる。
【学びに向かう力、人間性等】
・自分の健康や生活習慣を振り返り、改善しようとする姿勢を持つ。
・健康づくりや安全な環境づくりに積極的に参加する。
・学習内容を日常生活に生かそうとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康を保持増進するための課題や個人及び社会生活における健康・安全について基礎的な知識を深めるとともに、実習を通じて技能を身につけている。	健康を保持増進するための課題や個人及び社会生活における健康・安全についての課題を発見し、その解決に向けて、総合的に考え、比較・分析・思考・判断・表現することができる。	健康を保持増進するためには、自らの健康管理や環境づくりが重要であるということに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生涯を通じる健康	ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康	a:思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化に関わり，健康課題が生じることがあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 結婚生活を健康に過ごすには，自他の健康に対する責任感，良好な人間関係や家族や周りの人からの支援，及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: 生涯の各段階における健康について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 思春期と健康について，習得した知識を基に，心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために，性に関わる情報を適切に整理している。 結婚生活と健康について，習得した知識を基に，結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて，保健・医療サービスの活用方法を整理している。 c: 生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 提出物 観察	提出物 観察

2学期		中高年期と健康 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	a：中高年期を健やかに過ごすためには，若いときから，健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと，生きがいをもつこと，運動やスポーツに取り組むこと，家族や友人などとの良好な関係を保つこと，地域における交流をもつことなどが関係することについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 高齢社会では，認知症を含む疾病等への対処，事故の防止，生活の質の保持，介護などの必要性が高まることなどから，保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b：加齢と健康について，習得した知識を基に，中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・生涯の各段階における健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c：生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 提出物 観察	提出物 観察

2学期	健康を支える環境づくり	大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみ処理と下水道の整備	a：人間の生活や産業活動は，大気汚染，水質汚濁，土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし，健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており，環境基準の設定，排出物の規制，監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b：人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について，事例を通して整理し，疾病等のリスクを軽減するために，環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 環境と健康について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 c：環境と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 提出物 観察	提出物 観察

3学期		食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医療品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	a: 食品の安全性を確保するために，食品衛生法などの法律等が制定されており，様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや，食品の製造・加工・保存・流通など，各段階での適切な管理が重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 我が国には，人々の健康を支えるための保健･医療制度が存在し，行政及びその他の機関などから健康に関する情報，医療の供給，医療費の保障も含めた保健･医療サービスなどが提供されていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 b: 医薬品の制度とその活用について，医薬品には承認制度があり，販売に規制が設けられていることと関連付けながら，生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。 食品の安全性と食品衛生に関わる活動について，習得した知識を自他の日常生活に適用して，健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 c: 食品と健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 提出物 観察	提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度